



## 目はどんなしくみになっているの

### 目のしくみは、カメラのしくみによく似ている

目は、ボールのような丸い形をしており、目玉、眼球などと、よばれています。

目のしくみは、カメラのしくみによく似ています。

目にもレンズがあり、水晶体とよばれています。水晶体の前には、虹彩という膜があつて、カメラのしぼりのような役目をしています。また、眼球のおくには網膜があり、写真のフィルムのような役目をしています。そして、水晶体のおくの眼球は、硝子体という、液体ガラスがつまった暗箱になっており、眼球全体が、カメラのボディというわけです。

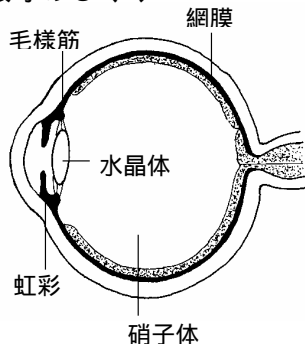
### 物を見ているのは脳のはたらき

目のレンズのはたらきをしている水晶体は、弾力のある凸レンズのような形をしています。毛様筋という筋肉ののび縮みで、水晶体の厚さは変わり、光の通り方を調節して、見たものが、網膜にはっきりと映るようになっていきます。

網膜は、眼球のおくにあつて、この網膜が光や色を感じると、神経を通過して脳に伝わります。それで、物が見えるという感覚が起こり、物が見えたことになるのです。

(監修・保志 宏)

眼球のしくみ



目で、物が見えるしくみ

